

令和元年度 第3回向日市社会教育委員の会議	
日 時	令和元年 11 月 7 日（木）午後 1 時～同 3 時 15 分
場 所	第 5 向陽小学校 会議室
出席委員	永井委員、高畑委員、植田委員、中本委員、平野委員、安田委員、吉岡委員
欠席委員	梅田委員、河村委員、竹林委員、築山委員、横田委員
事 務 局	小賀野教育部長、鹿島生涯学習課長
内 容	1 第 61 回全国社会教育研究大会兵庫大会 （令和元年度近畿地区社会教育研究大会）参加報告について 2 人権研修会（8/10）の報告及び実施（11/20）について 3 スポーツ推進計画の策定スケジュールについて 4 その他事項
教育部長 委員	<p>【開会】</p> <p>○開会挨拶</p> <p>○挨拶</p> <p>○議題 1 第 61 回全国社会教育研究大会兵庫大会（令和元年度近畿地区社会教育研究大会）参加報告について</p> <p>日時：令和元年 10 月 24 日（木）午後 0 時 15 分～同 5 時 場所：神戸ポートピアホテル・ポートピアホール テーマ：「わかりあえないことから —多文化共生を目指す演劇教育—」</p> <p>—参加した感想・意見の交流—</p> <p>○議題 2 人権研修会（8/10）の報告及び実施（11/20）について</p>
事務局	—人権研修会（8/10）の報告及び実施（11/20）について説明—
委員	<p><質 疑></p> <p>上杉先生は何回か向日市でも講演いただいていた、人権に関しての知識が非常に豊富な方だと思う。2 回人権の話聞いたが、毎回勉強になっている。今回は、別の側面からの歴史の流れが非常に参考になった。</p>

委員	話の中身的には知っていたが、頭の中が整理され、再構築されたいい機会だった。足を運んで自分の学びの確認をすることは必要だと感じた。
委員	年1回は同和問題をされていて、この問題を取り上げることは必要だと思っている。いろいろな方から話を聞く中で、60～70代の方だと思うが、「知らなくてすむ話なので、わざわざその話をするのはおかしい」と未だに言う方がいる。学ぶ必要があると思った方は学ぶ機会と捉えて足を運んで聞きに来られたりするが、そんなことを今さら子どもにも言えないという考えの方には切り口を変えたり、何か工夫していくことが必要だと感じた。
委員	<p>随分前の話になるが、人権研修に参加する時に、「そういう方なん？」と言われていた人がいた。その時はどういう意味かわからなかったが、案内があって研修に行くだけなのに、学ぼうとする人に対して「そういう人なん？」とか「ややこしいの？」と言う声が聞こえた。</p> <p>私たちの子どもの頃は部落差別について学校で学んできたが、自分の子どもは戦争に関する事とか、歴史の中でのことなど時間をかけて学んでいないように思う。</p>
委員	小学校の人権教育推進計画のカリキュラムは、低学年には同和問題は難しいので、普遍的な視点で、一人ひとり大事にされている、ということから入っていく。高学年から個別の視点ということで同和問題について必ず学習する。
委員	親になって、友達同士の会話の中で部落差別の発言の話をしていた時、自分の子どもたちから何のことか聞かれて、学んでいないのかな、と思った。
委員	今の子どもたちが授業などを受けていることは知っているが、その中で学べていない子どもたちにも、そのような歴史があって今の自分があると素直に学んでもらえたらと思う。
委員	<p>向日市では、戦争や平和について結構学んでいると思う。</p> <p>部落問題の解決へ向けた取組が一般施策になってから、やり方の切り口が変わったので、かつてのように部落問題というようにやるのではないので、薄められてしまった部分があるように思う。</p>
委員	同和問題学習は学校でやっているものの不十分さもあると思う。知識だけでなく、自分の態度であったり、繰り返したり戻ったりしながら、積み上げて身につけていくものである。今の若い世代の意識が積み上げられていないということは、学校の指導方法や取組の印象が薄い、あまり心に残らないというのかもしれない。学校教育だけでは知識だけになっているのかもしれない。いろいろなところで学ぶことによって太い幹になると思う。
委員	学校の人権教育は、人としてどう生きるか、いのちを大切にしながら、人として大切な根幹をわからせる。自分がどう判断してどう生きるか、どう行動するかに主眼が置かれていると思う。生涯学習課には社会教育として、研修会に多くの方が足

<p>委員</p>	<p>を向けるような内容でやってほしい。</p> <p>同和問題自体はなくなっていないし、見えにくくなっている。生活面など解消されている部分もある。昔の指導の重点は同和問題を中心に据えていたが、今はその他の人権問題も包括して取り上げている。学校校区でそれぞれ違うので、特色に応じた取組みをしていけばいいと思う。校区が広がっているところもあるので、もう一度考えなければいけないかもしれない。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>○議題3 スポーツ推進計画の策定スケジュールについて</p> <p style="text-align: center;">—スポーツ推進計画の策定スケジュールについて説明—</p> <p><質疑なし></p> <p>○議題4 その他事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度京都府社会教育研究大会について <p>○研修 第5 向陽小学校放課後児童サポート事業の見学</p> <p style="text-align: center;">—事務局の説明—</p> <p>【閉会】</p>